道路の凍結が予想されます！　ご注意ください！

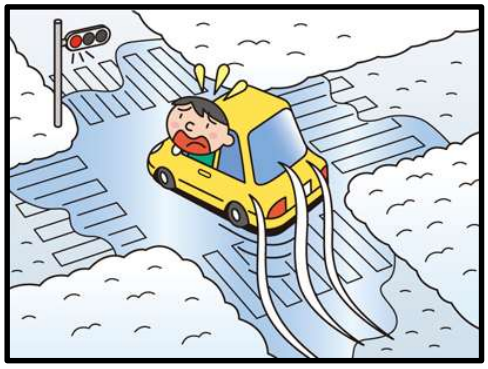
降雪時や気温が低い場合などの路面は、雪の量や凍結など走行する時間帯などによって刻々と変化します。凍結道や雪道を運転する際には、車の運転方法だけではなく、滑りやすいポイントを事前に知っておくことも重要といえます。事故の起こりやすい場所として、もっとも危険なのが、風通しのよい橋の上、トンネルの出入り口付近です。他よりも気温が低いため、路面が凍結しやすく大変危険です。

また、多くの車が停止・発進を繰り返す交差点も危険な場所です。交差点では、早めのブレーキ動作を心がけることが大切です。走り慣れていない道では、凍結した路面、積もった雪のせいで、運転操作が自由に利かない場合があります。

気温の下がる朝晩や夜の走行は、昼間と比べられないほど危険が潜んでいます。昼間は、濡れているだけの路面も、夜には凍結路面となっていることもありますので、注意が必要です。

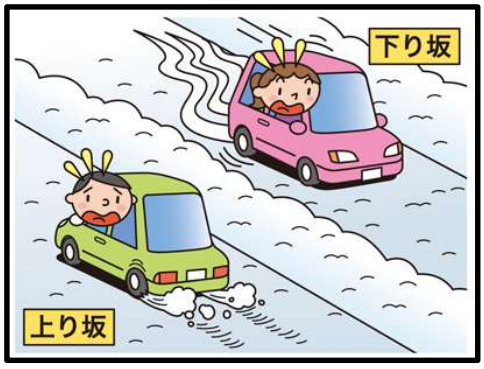
走行時の注意ポイント！

○交差点



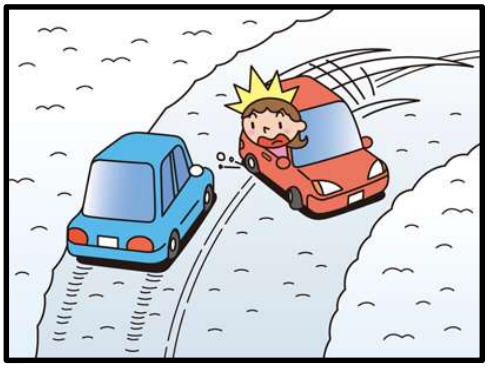
タイヤに磨かれてツルツルになった路面をミラーバーンといいます。交差点付近は、発進と停止が繰り返され、ミラーバーンになりやすいことが特徴です。

○坂道



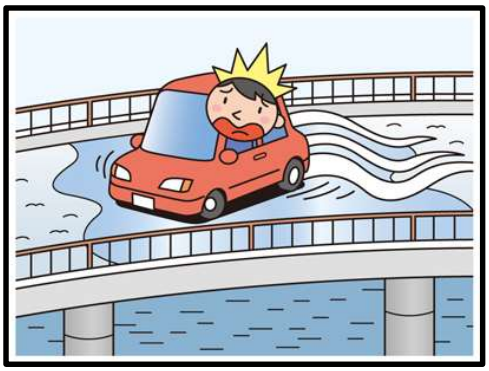
下り坂はスリップしやすいため、「ゆっくりブレーキ」、「スピードは控えめ」を心掛け、上り坂では、「ゆっくり加速」を心掛けましょう。

○カーブ



雪道は、タイヤと路面の摩擦力が少なくなりカーブの外に飛び出しやすくなりますので、カーブに入る前に十分減速する「スロー・イン」を心掛けましょう。

○橋の上



吹きさらしの路面は、凍結している事が多々ありますので、「スピードは控えめ」を心掛け、一定のスピードで通過しましょう。

○日陰

氷がいつまでも溶けずに残っていることが多々あります。細心の注意を払い走行しましょう。

※町ホームページに掲載
「道路の凍結防止剤の配備及び散布方法について」もご覧ください。

大山崎凍結注意

R7 年度　大山崎町　建設課

出典：中部地方整備局三重河川国道事務所ホームページ　「積雪・凍結道路の注意ポイント」（https://www.cbr.mlit.go.jp/mie/snow/caution.html）（中部地方整備局三重河川国道事務所）を加工して作成